スタートライン

令和2年度学校目標
新しい自分に会いに行こう ～自分破りへの挑戦 文武両道と絆づくりを通して～

八戸市立白銀中学校
TEL　３３－３２８７
FAX　３２－１１３１
学校通信　第１２号
文責：高橋　健
令和３年３月２５日

春三月　希望に満ちた次なるステージへ！

白銀中 卒業生一七、四九三名に！

第七四回卒業式　式辞から（抄）

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。そして、保護者の皆様、お子様のご卒業めでとうございます。卒業生の皆さんは、30ｃｍ×42ｃｍの紙といったら何を思い浮かべますか。それは、先ほど74名一人一人に心を込めて渡すことができた卒業証書です。まず、一番初めに「卒業証書」と書かれています。これは、この白銀中学校を卒業した。つまり義務教育を終えたということを表します。それは、仲間と「スマイル」を熱唱し、当日の大雨と寒さに震えながらも笑顔で友情を確かめあった校庭。毎日を仲間と過ごした教室・・・もうそこで、一緒の時間を過ごすことができないということでもあります。次に、自分の名前が書かれています。それは、世界中であなただけの証書であるということです。明さんの家族が願いを込めてプレゼントしてくれた素敵な名前、ここにいる仲間たちは、今までに何百回も何千回も呼んでくれました。先ほど、担任の先生が、皆さんの名前を呼びました。義務教育最後に呼ぶ名前だからこそ魂を込めて呼んだのです。次に誕生日が記されています。その日にあなたは生まれ、今日を迎えました。誕生した日が、土砂降りの雨だったとしても、凍えるような寒い日だったとしても、今日ここに参列してくれている皆さんのご家族は、その瞬間をどれほど喜んでくれたでしょう。へその緒が体に巻きついたり、予定日を過ぎ、お母さんの陣痛を長引かせたり、未熟児で保育器に入ったり、あなたとの出会いに嬉しくて涙したり、あなたの命が誕生した日は、たくさんの人が感動した日でもあるのです。その日から今日まで夜泣きをして寝付けない時、眠らずにずっとそばであやしてくれた人がいました。病気になった時、疲れた顔を見せずに、ずっと看病してくれた人がいました、悩み事や心配事を一緒に乗り越えてくれた人がいました。心と裏腹の言葉で傷つけたときでも、いつでも信じ、見守ってくれた人がいました。学校生活の中では、心が傷ついた時、一緒に涙し、励ましてくれた仲間がいました。意見が食い違い、ぶつかり合いながらも目標に向かって一緒に頑張った仲間がいました。居残りして勉強を教えてくれた先生。人として許されない行為を真剣に叱ってくれた先生、勝利に導こうと必死に練習をみてくれた先生がいました。命が誕生した日から、たくさんの人たちが見守り、支えてくれました。卒業証書の真ん中には「中学校の課程を卒業したことを証する」と大きく書かれ、その日が令和三年三月十一日であると記されています。義務教育最後の一年は臨時休校からのスタートでした。夏季大会やコンクールが中止になり、悔しさをぐっとこらえながらも部活動に参加し、後輩たちに指導する君たち。部活動引退式で最後のユニフォーム姿で後輩たちに贈った温かく力強いメッセージ。「一泊入魂」をテーマにした十和田湖への修学旅行。このメンバー全員で旅行したいという君たちの熱い思い。行事や学校生活で、全員が楽しめるようにと全校を引っ張り、決してあきらめずに仲間と共に創ってきた74年目の白銀中学校この一年は私たちの誇りであり、本校の歴史に燦然と輝く一ページとなりました。左端に書かれた番号。この番号も明さんだけの番号です。これは、今から74年前、白銀中学校第一回生から君たちの一万七千四百九十三番までずーっとつながっている番号であり、皆さんが白銀中学校の伝統を受け継ぐ一人であることを示します。将来社会に出たとき、必ず白銀中学校を卒業した人と出会い、力をもらえるはずです。その時に「先輩・後輩」と呼びあう証となる番号です。三か所についてある印鑑は「卒業証書」が本物であるという「しるし」です。いよいよ旅立ちの時です。皆さんがこれから歩む道、向かおうとする社会は決して優しいだけではありません。時には挫折や落胆を味わうこともあるはずです。しかし、逆境から逃げずに立ち向かっている時こそ、本当の強さと優しさを身に着けた人へと成長している時でもあるのです。白銀中学校で学んだことを胸に、何度も立ち上がり、力強く挑戦できる人へ、そして、君たちがたくさんの人たちに支えられて今の自分があるように、苦しんでいる人や困っている人に勇気をもって手を差しのべられる優しさをもった人へ成長してほしいと願っています。新しい自分に出会うためのスタートラインに立つ皆さんの前途に、幸多からんことをお祈りします。教職員一同、君たちとの出会いに感謝します。本当にありがとう。

答辞（抄）　卒業生代表　〇〇 〇〇

～愛　チームワークは永遠に～

本日は僕たちのためにこのような心温まる式を開いてくださりありがとうございます。今こうして74名の仲間とともに無事卒業式を迎えられたことをとても嬉しく思います。今年は新型コロナウィルスの猛威が全世界へ拡大し、僕たちの生活に大きな影響をもたらしました。突然の休校と明日がどうなるか予測できない漠然とした不安の中、僕たちは中学校最後の一年を迎えました。僕たち3学年は、お互いに支え合い、全力でぶつかり合いながら困難を乗り越えてきました。きっとこの一年は長い人生のなかでも忘れることのない年になるでしょう。三年前の春、大きな期待と制服を身にまとい迎えた入学式。学年目標である「愛」「チームワーク」のスローガンの下、新しい生活が始まりました。二年生では、「愛」「チャレンジ」のスローガンの下、一人一人が自立していくために、学年でも取り組んでいきました。職業体験では「働く」ことや「感謝」について学び部活動でも先輩の自覚が芽生え始めてきました。他人のことを考えず、無責任な行動をとり、指導されることもありましたが、仲間と協力することに喜びを覚えるようになりました。そして迎えた最後の一年。僕たちは新学期を自宅で迎えることになりました。また、様々な行事が中止となり、三年生最後の大会である夏季大会もなくなってしまいました。部活動で出し切れなかった思いや何もできない現状に悔しさがつのっていきました。しかし、先生方が僕たちのために体育祭や文化祭など活躍の場面を与えてくださいました。その残されたチャンスの中、今までの思いを糧に三年生全員が必ず成功させるという決意で臨みました。雨にも負けず、コロナにも負けず両軍全力でぶつかった体育祭。英語の歌詞にも挑戦した合唱コンクール。二日間にわたり全校一体となって盛り上がった文化祭。どの行事でも一人一人が自分の個性をいかし、そして仲間と団結し成功をおさめることができました。あのとき味わった喜びや感動は今でも鮮明に思い出されます。コロナ禍での行事を通して改めて周りに人の支えや仲間の大切さに気付くことができました。振り返ると、今年は濃く短い一年だったと思います。世間からは「可哀そうな学年」「何もできなかった年」だと思われがちですが、僕はそうは思いません。なぜなら、仲間と熱く燃えた日々、楽しかった思い出が今でも瞼の裏によみがえってくるからです。何気ない話に盛り上がり笑いあった日々。本気で仲間とぶつかり合えたからこそ心の底から喜ぶことのできた行事。そのすべてが僕の宝物です。先生方、ひたむきな言葉や熱い思いに何度も励まされ多くの困難も乗り越えることができました。三年間本当にありがとうございました。後輩の皆さん。これまで共に熱く挑戦してくださりありがとうございました。次は皆さんがこの学校を創り上げていく番です。僕たちが皆さんに残せたものは多くはありませんでしたが、強い責任感と皆さんの明るさでこれからも白銀中学校を引っ張っていってください。本当にありがとうございました。この困難な年をいつも一緒に乗り越え、支えてくれた家族の存在はどれほど大きかったことでしょう。弱音を吐いてくじけそうな時も、嬉しくて飛び上がりたい時もいつも寄り添い励まし、ともに喜んでくれました。ここまで育ててくれて本当にありがとうございました。そして、三年生のみんな、僕はみんなに会えて本当に良かったです。いつもふざけて笑い合ったり、お互いに励まし合ったり、みんなとの3年間は本当に楽しかったです。これからは違う道へと進んでいくけれども、僕はみんなのことを思い出して頑張ろうと思います。友達と一緒に過ごせる時間がどれだけ貴重なものか、そして健康であること、生きていることがどれだけ尊いことなのか、その当たり前の生活のありがたさを今、ひしひしと感じています。これから僕たちは新しい出会いに向けスタートをきります。この仲間たちとともに歩んだ日々を糧に、自分の可能性をどこまでも拡げ、大きく大きく成長していきます。そして必ず自分の夢を叶えていきます。（R3、3、11）

ありがとう 白中の歴史と伝統を築いてきた先生方

3月 23 日（火）午前 11 時。県教育委員会から人事異動発表がありました。本校からは5名の職員がご転出となりました。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

【異動される先生方】

◇〇〇 〇〇 先生　本校勤務6年、3学年主任
　　三条中学校へ

◇〇〇 〇〇 先生　本校勤務1年、1学年副担任
　　大館中学校へ（新採用）

◇〇〇 〇〇 先生　本校勤務6年(県総合学校教育ｾﾝﾀｰ
　　研究員2年含）、白銀南中学校へ

◇〇〇〇〇〇先生　本校勤務 6 年、非常勤講師
　　学校司書として市内小中学校へ

◇〇〇 〇〇 先生　本校勤務1年
　　八戸市立中学校に勤務予定

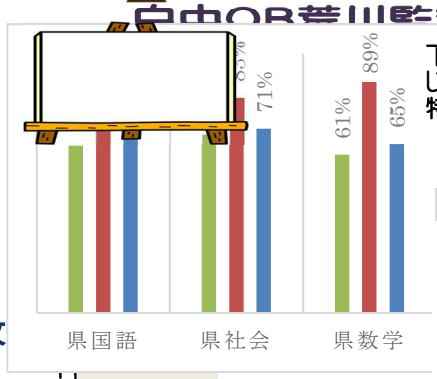
卒業記念品に「気化式冷風機２台」

卒業生より卒業記念品をいただきました。卒業式で〇〇〇君、〇〇〇〇さんが卒業生を代表し登壇。「気化式冷風機２台」の贈呈目録が読み上げられ、校長に手渡されました。ありがとうございました。

あとがき　まさに、「光陰矢の如し」。卒業式での姿を見ていると、いつの間に、こんなにも頼もしく凛々しい若者になったのかと驚かさせる。「卒業」という言葉の重みをひしひしと感じる。3年間楽しいことばかりではなかったはず。多感で心揺れ惑う中学時代だからこそ喜怒哀楽に満ちた生活を過ごしたに違いない。その一つ一つが彼ら、彼女らの身体をつくり心を育んできた。何一つ無駄なものはないと改めて感じさせられる。本校を巣立った卒業生は 17,493 名となった。これからも「歴史と伝統」の名に恥じない学校でありたいと思う。ご支援いただいた保護者や地域の皆様に心から感謝したい。　ありがとうございました。

行事予定

学習の根絶～体罰調査結果から



下のグラフは、白銀中学校2年生の調査結果です。県の結果と同じ傾向ではありますが、「理科が好き」と答える生徒が多いのが特徴です。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合

右表は、県内中学2年生の調査結果です。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合を％で示したものです。　ほとんどの項目で肯定的な回答が前年度より増加するという結果になりました。

		大切だ	分かる
		93.9%	76.0%
県社会	69.1%	83.0%	70.9%
県数学	60.6%	88.5%	64.5%

市連P活動功労者表彰式

春の気配

葉っぱを
冬の木は
はだかの
ごつごつ
強くおち
霜柱にかこまれて
寒さのなかに立っている
はだかの木々の美しさ
枝々や幹のなかを
力が流れているような気がする
夢がいっぱいつまっているような気がする
白いほのおが燃えているような気がする

慈恵病院

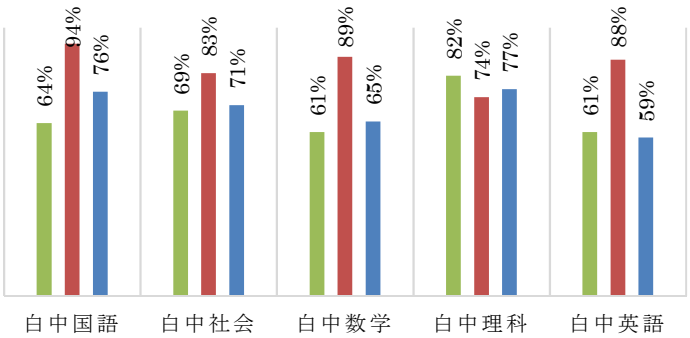
326（中村

3学期始

空

新！！ Newリーダー紹介

ノー残デー



会　長	宮崎　善幸
おやじの会会長	櫻田　泰規

交付式

見発表から

を紹介

日午前９時「開会式」

運動公園陸上競技場

3日目　全校応援か授業か？

③　ちょっと一言･･･

小中野中学校から転勤してきました。よろしくお願いします。２・３年生の理科の授業がメインですので、高校受検・進学に向けて少しでも力になれればと思います。ゴールに向かって一丸となって頑張っていきましょう。　　よろしくお願いします。

開会式の行進では市内27校中17

ます。ソフトボール部主将の橋本望

中プラカードをもって先導し、男子バスケットボール部の中田翔太君が旗手を務めます。そのあと

ったところをすべて改善し

楽しかったと言える毎日を

＊感染症等の状況により日程を変更する場合があります。ご了承ください。

４月　６日（火）新任式
　　７日（水）始業式、入学式
　　８日（木）新入生歓迎会、
　１０日（水）卒業式予行・準
　　青森県立高校追
　１１日（木）卒業証書授与式
　１２日（金）青森県立高校合
　１７日（水）青森県立高校再
　１９日（金）青森県立高校再
　　白銀小卒業式、
　２０日（土）春分の日
　２４日（水）新入生一日入学
　２５日（木）生徒委員会
　２６日（金）修了式、離任式
　２７日（土）学年末、学年始休業 ～ ４/６

く(響)

結果

世界遺産 兵馬俑

旨を打つ

青春さ 青春さん然　輝け是中ん然

輝け是中

6月　行事予定　7月

６月４日、本校校長室で是川中学校「地域学校連携協議会」の委嘱状交付式と協議会が行われました。この日、地域代表、保護者代表、学校代表の８名に委嘱状が交付されました。下舘是川地区青少協会長が会長に橋本ＰＴＡ会長が副会長に指名され、第１回協議会がスタートしました。最初に、校長より学校経営方針が示され、今年度の組織や活動計画の確認が行われました。質疑応答では、不登校の実情や学力の実態と昨年度の高校入試の結果や県立高校入試制度の変更点などについて意見交換が行われました。これから地域密着型教育の本格的な活動がはじまります。保護者や地域の皆様方のご支援よろしくお願いいたします。

【是川中地域学校連携協議会】

会　長：下舘　　敏 様
副会長：橋本　睦子 様
委　員：上野　裕正 様　　古戸　良一 様
　　野沢　秀明 様　　川村　晴美 様
　　佐々木久美子 様　小笠原正樹（教務主任）
事務局：岩村　陽子様（地域密着ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ）
　　高橋　健（教頭）

～是中に新しい風　前期室長の抱負～

お知らせ

スクール カウンセラー
和山　弓子（わまゆみこ）先生

全校	１　位	２　位	３　位
	楽	笑	絆

午後の体育館は
皆の熱気でサウナ状態！

校長先生を先頭に　学校の伝統
男　子　道!!
本物の下長中の生
徒になりたいな･･･
がんば

ゴールまであと少し！
みんな　ガンバレ～!!

教師になって初めての遠足、佐々木先生の爽やかな一歩

午後はドッジボール対決
に大盛り上がり・・

学級全員で一緒にゴール
あれ！　フライング 誰？

四月に実施
全国標準診断
力検査（NRT
結果が届きま
このテストは
生で学習した
の理解度を確
るもので、全国

明日があるさ　下長中には夢がある編
中すの容年　。の学た

実りの秋にむけて

GWの校庭はまさに花盛りでした。ツバキや桜、コブシが咲き乱れ、美しさを競っていました。今は散ってしまいましたが、実りの秋に向けて生はどんな華を咲かせるのかな？どんな大きな実をつけるのかな？

	1 組	2 組	3 組	4 組
平均点	85.8	88.8	86.8	84.2
満点者数	４人	２人	４人	４人
獲得ﾎﾟｲﾝﾄ	４２ｐ	５６ｐ	５２ｐ	３２ｐ
順　位	第３位	優勝	準優勝	第４位

本日は僕たちのためにこのような心温まる式を開いてくださりありがとうございます。今こうして卒無事卒業式を迎えられたことをとても嬉しく思います。今年は新型コロナウィルスの猛威が全世界へ拡大し、僕たちの生活に大きな影響をもたらしました。突然の休校と明日がどうなるか予測できない漠然とした不安の中、僕たちは中学校最後の一年を迎えました。僕たち3学年は、お互いに支え合い、全力でぶつかり合いながら困難を乗り越えてきました。きっとこの一年は長い人生のなかでも忘れることのない年になるでしょう。三年前の春、大きな期待と制服を身にまとい迎えた入学式。学年目標である「愛」「チームワーク」のスローガンの下、新しい生活が始まりました。二年生では、「愛」「チャレンジ」のスローガンの下、一人一人が自立していくために、学年でも取り組んでいきました。職業体験では「働く」ことや「感謝」について学び部活動でも先輩の自覚が芽生え始めてきました。他人のことを考えず、無責任な行動をとり、指導されることもありましたが、仲間と協力することに喜びを覚えるようになりました。そして迎えた最後の一年。僕たちは新学期を自宅で迎えることになりました。また、様々な行事が中止となり、三年生最後の大会である夏季大会もなくなってしまいました。部活動で出し切れなかった思いや何もできない現状に悔しさがつのっていきました。しかし、先生方が僕たちのために体育祭や文化祭など活躍の場面を与えてくださいました。その残されたチャンスの中、今までの思いを糧に三年生全員が必ず成功させるという決意で臨みました。雨にも負けず、コロナにも負けず両軍全力でぶつかった体育祭。英語の歌詞にも挑戦した合唱コンクール。二日間にわたり全校一体となって盛り上がった文化祭。どの行事でも一人一人が自分の個性をいかし、そして仲間と団結し成功をおさめることができました。あのとき味わった喜びや感動は今でも鮮明に思い出されます。コロナ禍での行事を通して改めて周りに人の支えや仲間の大切さに気付くことができました。振り返ると、今年は濃く短い一年だったと思います。世間からは「可哀そうな学年」「何もできなかった年」だと思われがちですが、僕はそうは思いません。なぜなら、仲間と熱く燃えた日々、楽しかった思い出が今でも瞼の裏によみがえってくるからです。何気ない話に盛り上がり笑いあった日々。本気で仲間とぶつかり合えたからこそ心の底から喜ぶことのできた行事。そのすべてが僕の宝物です。▼先生方、ひたむきな言葉や熱い思いに何度も励まされ多くの困難も懲り越えることができました。三年間本当にありがとうございました。▼後輩の皆さん。これまで共に熱く挑戦してくださりありがとうございました。次は皆さんがこの学校を創り上げていく番です。僕たちが皆さんに残せたものは多くはありませんでしたが、強い責任感と皆さんの明るさでこれからも白銀中学校を引っ張っていってください。本当にありがとうございました。▼この困難な年をいつも一緒に乗り越え、支えてくれた家族の存在はどれほど大きかったことでしょう。弱音を吐いてくじけそうな時も、嬉しくて飛び上がりたい時もいつも寄り添い励まし、ともに喜んでくれました。ここまで育ててくれて本当にありがとうございました。▼そして、三年生のみんな、僕はみんなに会えて本当に良かったです。いつもふざけて笑い合ったり、お互いに励まし合ったり、みんなとの3年間は本当に楽しかったです。これからは違う道へと進んでいくけれども、僕はみんなのことを思い出して頑張ろうと思います。友達と一緒に過ごせる時間がどれだけ貴重なものか、そして健康であること、生きていることがどれだけ尊いことなのか、その当たり前の生活のありがたさを今、ひしひしと感じています。これから僕たちは新しい出会いに向けスタートをきります。この仲間たちとともに歩んだ日々を糧に、自分の可能性をどこまでも拡げ、大きく大きく成長していきます。そして必ず自分の夢を叶えていきます。

もうどうにも止まるステージへ

を実施することが出来ました。ウでしたが、全員元気に完歩できまく子どもたちにとって学校行事で「生きる力」を身につける実践の

[illegible]

[illegible]の積み重ねでゴールには[illegible]ばいい。学年スタッフの思いが成功へ入ってほしい。

Ｓ－Ｃｕｐコンテスト社会の結果

Ｓ－Cup　ラスト2組独走！

各クラスの平均点と満点者の人数で一位～四位までの順位をつけて、やる気を引き出しています。今までに国語と社会の二教科で実施しましたが、その二回とも２組が優勝しＳカップをゲットしました。

来週月曜日の数学Ｓカップコンテストに三連覇とレプリカがかかっています。三連覇という快挙達成できるのか、はたまた２組独走にストップをかけるクラスが現れるのか、４組はどん底から上がれるのか？この熱い戦いは目が離せません。決戦の日はもうすぐ、今からドキドキです。